

肺炎球菌感染症について

現在世界中で新型コロナウイルスによる肺炎が猛威を振るっており、私たちの生活習慣そのものも大きく変わろうとしています。しかし肺炎の原因となる病原体はもちろん新型コロナウイルス以外にも数多く存在しており、その中の代表的なものが肺炎球菌です。

肺炎球菌は一般人、特に高齢者の肺炎の原因となる病原体第1位の細菌であり(全肺炎の約30%)、肺炎以外にも副鼻腔炎、中耳炎、また侵襲性肺炎球菌感染症とよばれる髄膜炎や敗血症などにより重篤な感染症を引き起こします。国内の研究では、侵襲性肺炎球菌感染症による死亡率は19%と高く、患者さんの69%を65歳以上の高齢者が占めています。

肺炎球菌は健康な人の鼻などにも存在し、健康な時は何も症状はありませんが、高齢者やがん患者さん、糖尿病・心疾患・呼吸器疾患などの持病を有する患者さん、手術で脾臓を摘出した患者さんなど、免疫力が低下した方には上記の感染症を引き起こすリスクが高くなります。

肺炎球菌は莢膜(きょうまく)という分厚い膜に包まれており、からだの免疫からの攻撃に強く退治するのが難しい細菌です。また日本においてはペニシリンなどの抗生物質が効きにくい肺炎球菌の頻度は1980年代後半より増加し、現在、臨床で分離される肺炎球菌の30~50%を占めているといわれています。そのためリスクの高い患者さんには肺炎球菌による感染症を予防するため、ワクチンを投与することが求められます。

肺炎球菌ワクチンは残念ながら肺炎球菌以外の原因による感染症、もちろん新型コロナウイルス感染症に対しても予防効果はありません。しかし肺炎球菌感染症は前述の通り重症化しやすく現代でも危険な感染症であるため、ワクチン接種によって肺炎球菌感染症に備えておくことは、コロナ禍の現状においても大事なことです。

肺炎球菌ワクチンは定期予防接種として、小児期(開始時期によって2~4回接種)と高齢者(65歳以上(持病のある方は60~64歳)、年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方、1回のみ)に施行されています。高齢者の方の場合、使用されるワクチンはニューモバックス(23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン)であり、免疫効果は5年程度持続すると言われていて、まだ一度も肺炎球菌ワクチンを接種されていない該当年齢の方はぜひ接種をご検討ください。

また初回定期接種後の2回目以降の任意接種についてですが、同じニューモバックスを接種すると接種部位が赤くはれる、痛む、硬くなるなどの副反応が強く出ることがあります。また自治体の助成を受けられるのは初回のみであるため、2回目の任意接種はタイプが違うプレベナー(沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン)を接種することをお勧めします。ニューモバックスと異なり、プレベナーは一度接種すれば身体に免疫記憶がつくため、1回の接種でほぼ一生の効果が得られます。そのため定期接種年齢以外の方は先にプレベナーを接種しておくことが安心です。

プレベナーはニューモバックス接種から1年以上経過していれば接種可能です(ニューモバックスの再接種は初回接種から5年以上経過後)。またプレベナー投与から半年以上経過していればニューモバックスの接種も可能ですので、ご希望の方は当院までご相談ください。



副院長 佐々木 寿誉



「雪の妖精」シマエナガ (真駒内公園12月)



6月、巣立った直後の雛達が、片寄せあって成長する「エナガ団子」は息が止まるほどの可愛さです。幼鳥期は目の周りが黒くパンダのようです。(苫小牧研究林)

北海道固有のシマエナガは、真っ白な顔につぶらな瞳、なが〜い尾をふわりと揺らしながら飛ぶ姿から「雪の妖精」の愛称で呼ばれています。日本最小の鳥の種で、細い枝先をブランコのようにして、飛び回り探偵します。さえずりは「ジュリジュリ」これまた可憐で、耳を澄まさなければ聞こえません。身近にいる留鳥ですが、なかなか出逢えませんよね。探すなら冬です!寒さで羽をフワモコにして20羽程の群れで移動しているので探しやすいでしょう。

撮影と文 吉本 はるみ(職員家族)



当院理念 地域の安心を第一に考えた病院づくりを目指しています。

1. 地域のみならずから信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
2. 救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い専門医療を実践します。
3. 患者さん、ご家族、そして共に働く職員の気持ちに寄り添います。

今年も残りわずかとなり、あまじりにも時日の経つのが早いと感じるのは私だけでしょうか? 2020年6月より医事課課長を拝命し半年が経ちました。私にとってこの半年間は今まで考えたことすらなかったことを考えることも貴重な経験とさせていただきます。医療事務の経験しかなかった私にこのような機会を与えてくださり、いかに何度何度も熱心にご指導して下さった上司をはじめ、職員のみならずご家族、職場環境に恵まれ全てに感謝の気持ちでいっぱいです。

Voice 「物事を理解する大切さ」

「物事を理解する大切さ」

4月の緊急事態宣言以降、話題は「コロナ色」と言っても過言ではありません。まだコロナの影響が続く中、厳しい現状を打破し新しい医療環境を構築するためにはどうすればよいのでしょうか。まずは行政からの支援策を見逃さないことが重要と思いつつ奮闘しておりますが、解釈に悩む表現も多くいまだ困惑している状況です。今までのような通常業務では経験できないようなことを、今学ばせていただいております。



外務診療部 医事課課長 荒関 視奈子

地域医療連携センター

相談受付時間:午前9時~午後5時まで(月~金)

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)がおり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じさせていただきます。

■地域連携

他の医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。

■医療相談

経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でもご相談も構いません。

外来診療時間	[平日]午前9時~12時・午後1時~5時					
	月	火	水	木	金	土
午前	院長	院長	北川	院長	豊田	交代制
	北川	佐々木	豊田	佐々木	大野	整形外科 専門外来
午後	大野	中村	消化器内科 専門外来	中村	循環器内科 専門外来	
	佐々木	大野	大野	豊田	北川	
午後	中村	豊田	佐々木	北川	中村	
	循環器内科 専門外来	整形外科 専門外来		整形外科 専門外来		

※診療時間午後2時~5時 日曜・祝日は休診いたします。



医療法人社団 **土田病院**
 Tsuchida Hospital
 札幌市1次・2次救急指定病院
 TEL:011-531-7013
 〒064-0921 札幌市中央区南21条9丁目2-11
 E-mail / info@tsuchida.or.jp
 URL / http://www.tsuchida.or.jp



■市電 / 「東屯田通」下車 徒歩1分
 ■定数バス / 「南21条西11丁目」下車 徒歩5分
 ■車 / JR札幌駅から約30分

診療科目
 外科・内科・消化器外科・消化器内科・救急科・整形外科・循環器内科・肛門外科・リハビリテーション科・放射線科

病床数
 一般病床 / 42床、医療療養病床 / 52床、地域包括ケア病床 / 40床

ワクチン・予防接種について

病原体である細菌やウイルスが体内に入ると、その病原体に対して生体内で免疫が作られます。この免疫の仕組みを利用したものがワクチンで、ワクチンを接種することで、病原体に対する抵抗力を獲得することができます。予防接種には「個人を守る」役割と「社会を守る」役割があります。予防接種を受けるとその病気に対する免疫が作られ、その人の感染症の発症あるいは重症化を予防することができます。また、多くの人が予防接種を受けることで免疫を獲得していると、集団の中に感染患者が出ても流行を阻止することができる「集団免疫効果」が発揮され、ワクチンを接種することができない人を守ることもつながります。ワクチンは生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイドに分類され、下記の特徴があります。

ワクチンの種類と特徴

	生ワクチン	不活化ワクチン	トキソイド
概要	病原体の病原性(毒性)を弱めた物	病原体の病原性(毒性)を無くした物	細菌が出す毒素の「毒性」を無くした物
免疫獲得に必要な接種回数	1,2回	数回以上の接種が必要	
副反応(副作用)が出るリスク	他のワクチンと比べるとやや高め	重い症状が出ることはほとんど無い	

生ワクチンは病原体となるウイルスや細菌の毒性を弱めて病原性をなくしたものを原材料として作られます。毒性を弱められたウイルスや細菌が体内で増殖して免疫を高めていくので、接種の回数は少なく済みます。十分な免疫ができるまでに約1ヵ月が必要です。生ワクチンの代表的なものに麻しん風しん混合(MR)、麻しん(はしか)、風しん、おたふくかぜ、ポリオ、BCG、水痘などに対するものがあります。不活化ワクチンは病原体となるウイルスや細菌の感染する能力を失わせたものを原材料として作られます。自然免疫や生ワクチンに比べて生み出される免疫が弱いので、1回の接種では十分ではなく、何回か追加接種が必要になります。接種回数はワクチンにより異なります。不活化ワクチンの代表的なものに三種混合(DPT)、インフルエンザ、日本脳炎などに対するものがあります。トキソイドの代表的なものには破傷風、ジフテリアに対するものがあります。

薬剤科 主任 永井 崇司

異なるワクチンを接種する際の接種間隔

異なるワクチンを接種する際の接種間隔は下記の通りとなっています。

接種したワクチン	つぎに接種するワクチン	接種間隔
注射生ワクチン	注射生ワクチン	27日以上
	経口生ワクチン 不活化ワクチン	
経口生ワクチン	注射生ワクチン	間隔に関する規定はありません
	経口生ワクチン	
不活化ワクチン	不活化ワクチン	

医薬品・医療機器等安全性情報No.375より